

SDGsの取組みPR

記入日：2020年6月3日

① タイトル	地域資源を活かした独自製品の物づくり
② 関連する ゴール	
③ 目的・概要	<p>地域資源である「東濃ひのき」「長良すぎ」「美濃和紙」 地元である岐阜の豊かな自然の恵みである地域資源の県産材を活かし、環境に配慮した「物づくり」を特徴とし、当社独自の『手づくり筆記具』の製造卸をおこなう。 地域資源の認知度の向上のため、平成29年、農商工連携ファンド助成金を活用し「岐阜県産材ボールペン」を開発し展示会出展して販路開拓事業を行った。その成果を活かし今後も県産材を活用した物づくりを進めていく考えである。 全国の文具雑貨店に向け販売を行っており、コロナの影響でインバウンド関連のお土産品などのリアル店舗の休業にともない売上は5割減となる。手づくりに拘った物づくりをしており伝統工芸職人の専属雇用の儀路に立っている。今後のプラスとするためにも新商品の開発が必要であり、クラウドファンディングを活用する計画である。</p>
④ 詳細	<p>【取組内容】 プロジェクトの背景 現在を取り巻く環境の中で、古き良き時代の伝統文化が減少傾向にある。当社専属契約の職人もその一人で、筆職人だけでは生きていけないのが現実である。そこで当社企画力を活かした独自デザインの手づくり筆記具を開発する。その一つに伝統職人の生活を維持する取組として、奈良の老舗筆ペンメーカーとコラボし「希少樹木の筆ペン」をMakuakeクラウドファンディングに支援募集を開始したところ70万円の支援を集め話題となる。昨今では、手軽に使える「筆ペン」は、書道を愛する方々や、年賀状を初めにインクのカラーバリエーションも増えイラスト作家などにも愛用される製品となる。</p> <p>次に計画しているクラウドファンディングは、新商品「シェイプペン希少樹種モデル」で、家具で知られる希少な銘木材を使い、独自設計のデザインバランスで疲れにくい持ちごごちの良い製品として打ち出す予定である。また、長良杉で木箱ペンケースを作り、岐阜県産材モデルとして開発し、県産材の間伐材を利用した取り組みであり地域資源の認知度の向上を図る。</p> <p>【業務目標】 集まった支援金は、手作り筆記具を次の世代に伝えるために職人の雇用を守るための費用に充てる計画である。また、森組合からの材料の仕入れを止めることなく、林業のサイクルを保全し日本の森づくりを支える為の資金とする考えである。</p> <p>【結果】 第一目標としていた70万円は達成し、第二目標の200万円を目指し、支援者に対して筆記具の魅力をより強く知ってもらえるような返礼品を今後計画している。</p> <p>【連絡先】 ㈱F-STYLE 企画部 担当：古田耕造 Tel:058-227-5222</p>
⑤ 関連URL	<input type="text" value="https://www.f-style-japan.com/"/>
フリガナ	カブシキカイシャ エフスタイル
会員名	株式会社 F-STYLE